

第3次小城市総合計画策定に係る総合計画審議会での主な意見 第5回／R7.8.7

No.	項目	意見
1	商工業の振興	地区によっては小城市は周辺より土地が高く、仮に産業誘致しても企業が安価に用地取得できるような方法も大事でないか。人を呼び込むための施策にしていける必要はないか。
2	商工業の振興	スタートアップ支援も小城市は少ない状況であるので、働く環境としての「スタートアップ支援」というワードを入れてほしい。
3	商工業の振興	起業家マインドが小城市は不足しているので、産業振興に繋がるような起業家マインドの育成を考えてほしい。
4	商工業の振興 こども・子育て支援の充実	牛津高校の起業家入門で雇用の場は少ないという意見があった。産業と教育は近接しているので盛り込んでいただければ。
5	農林水産業の振興	小城市はトレーニングファームがなく、新規の担い手を育成するためには若手農業者が増えていかないといけないので、もう少し戦略的な担い手育成が必要。
6	防災・減災体制の充実	学校にいる時間と家庭にいる時間の間に空白の時間が生じている。学校防災計画の中にはそういった空白の時間の子供たちの安心安全を守る状況になっていない。
7	防災・減災体制の充実	消防団の数がなかなか増えない、或いは自主防災組織が機能していないので、民間資格の防災士の資格を取る人も増えてきている。防災士の養成等、人材育成も検討してほしい。
8	防災・減災体制の充実	自治会やまち協レベルでつくる地区防災計画について佐賀県はゼロであり、身近な防災計画をみんなで作っていくことが社会全体のトレンドになっているので、地区防災計画を策定するくらいのところまで踏み込んでほしい。
9	計画的な土地利用	企業誘致につながるような場所をどのように確保していくのか、土地利用について踏み込んで記載してほしい。
10	高齢者福祉・介護の充実	市民や若者に自分事として捉えてもらうため、市民に向けた課題の啓発が必要ではないか。
11	地域福祉の充実 高齢者福祉・介護の充実	「地域福祉の充実」と「高齢者福祉・介護の充実」の2つの施策が分かれているような印象を受けるため、検討してほしい。
12	快適で住みやすい住生活環境	取組方針に空き家、空き地の利活用について記載がない。佐賀市は空き家シェアリングを行っている。
13	安定した上下水道の充実	全国各地で老朽化問題が深刻化しているが、小城市の状況は？老朽化の状況を踏まえた長寿命化点検をお願いしたい。
14	こども・子育て支援の充実	夫婦共働きの世帯が多いので、放課後児童クラブや保育園を充実させてほしい。
15	こども・子育て支援の充実	抽象的な表現のため、具体的な内容、可能な限り踏み込んだ内容の記載をしてほしい。 (コミュニティづくりや文化・スポーツの分野など)
16	こども・子育て支援の充実	「若者の支援の充実」について、大学・高校においてボランティアの育成に繋がっていけばいいと思う。また、中高年の方に対してもボランティアの意識の向上及び啓発活動も必要ではないか。
17	D Xの推進と行政サービスの向上	今後10年間の総合計画なのでAIは当然のこととして、AIを全面的に活用するような表記をしてほしい。
18	協働によるまちづくりの推進	共創によるまちづくり活動の推進とあるが、協働だけでなく共創という言葉施策に位置付けてほしい。
19	多様性を認め合う地域づくり	男女共同参画の促進で女性が意見を述べる場が少ないので男女が50:50で物事を進めていければ住みやすいまちにつながると思う。女性だけでなく、男性も男女共同を理解していただくようにお願いしたい。
20	多様性を認め合う地域づくり	外国人に向けての多言語対応や安全保障を踏まえて検討してほしい。